京城日日新聞

電話 編輯 營業 三三一 三三一 一九番 八番

定價 本紙一部 金參錢 一ヶ月前金 金七十錢 三ヶ月前金 金貳圓

廣告料 五號 行 金 六號 行 金 四號 行 金 貳號 行 金

發行兼編輯人 島羽
印刷人 松崎宗次郎
發行所 京城府永樂町二丁目七三 京城日日新聞社
振替口座京城八〇三七

東京支局 東京市麹町區內幸町一丁目 電話九段一八五〇
大阪支局 大阪市北區堂島中一丁目 電話北七五五番

戰後の歐米（十六）

木村雄次

戰跡に就ては伊太利にありてはベネチアを去る四十哩程なるピアベ河畔を視察し佛國にありてはランス一帶の戰線リル等に各一日を費しアミアン、カンブレーの激戰地は汽車中より望見し白耳義にありてはマリーン、イープン等に一日を費し申し候へば軍人ならざる小生の戰跡見物としては寧ろ過ぎたるもの之れ有り候

凡て戰跡中荒廢慘狀最も甚だしきはランス、イープル、カンブレーを數ふ可くランスの如きは其悲史と其結構と而して其莊美とを以て誇りし有名なる寺院は殆ど非人道なる獨逸砲の餌食となり見る影もなく破壞せられ全市は悉く潰敗して破壁壊柱慘として骨立す若し夫れイープルに至つては其の荒廢の狀更に心を傷ましむるものあり全市は地に委して一家だに殘らず築かれたる煉瓦なく石と石と頭なるものなし唯見る瓦々たる堆積の平地に存するのみ一度郊外に歩を移せば森林は毒瓦斯に枯れ地は砲彈に穿たれて無數の大穴を殘し凸凹宛として痘面の如く死せし牢戰に似たる破れタンクの殘たはあり蜘蛛の巣の如き鐵條網の縱然枯草のうちに存するあり試みに暫壕を窺はんとすれば人骨馬骨縱橫足下に散在して人の入るを拒むが如く一度中に入れば暗黑の洞道續く事數哩鬼氣人を襲ふ出づれば則ち曠茫たる平野風寒く草短く凡て眼界の及ぶ限り寂として沙漠の如く時て人を見ず又圍より牛馬を見ず時に爆然響を上げて黑煙の天に冲するを見るのみ路傍新墓多く聞く黑衣の婦人の墓を繞するを見る一として獨軍の暴横兩軍奮戰の慘烈を想はしめざるものなく乃ち追然として驚き乃ち愁然として戰ず其狀筆紙の能くする處に御座無く候

復興の事業に就ては各國夫々之が爲め特に一省又は委員會を設け戰爭其事に從ひ居り候て沮喪の住民に對しては保險を發つる等色々盡力致し居り候趣見受候が佛國の如きは目下之が爲に一新銀行を設立して政府の證明したる債權證書に對しては貸付を行ふ等の計畫も之ある由に聞き及び候然れども大體上各國とも個人の損害に對しては賠償を行ふの餘裕なく獨逸より償金を得たる後に之を行ふの豫定なるが如く聞き及び候

獨逸が果して平和條約に規定されたる巨額の償金を支拂ふの能力あるかは此の點に就ても最も興味ある事に候ひしがばアムステルダムへ赴き候際ネーザランド銀行總裁ヴヰセリング博士と會談の次で聞ふに此事を以てし候處氏は曰く獨逸は今や其國家的生活の必要上不換紙幣を亂發しつゝありて為に馬克は暴落に暴落を重ね生活費は徒らに上昇するのみならず資本の缺乏は産業の繼續を不可能ならしめつゝあり若し此の儘に委して何等の助力を與ふることなくんば獨逸は啻に償金を支拂ふこと能はざるのみならず國民の生活は危殆に瀕するに至るべくかくして過激派の乗ずるに至らば獨り獨逸の不幸あるのみならず世界の不幸となるべし元來平和會議に定められたる償金は主として軍事上の立脚より決定せられたるものなれば此の償金を強取せば聯合國は却つて獨逸の禍を移すに至るべし故に余は賠償委員會が此の國際經濟上の立場に返り償金支拂の方法を今少しく寛大にし英、米、日等は先づ貸付を行ひて彼をして稍支拂能力を涵養せしめざる可らずと申し居られ候御承知の如くヴヰセリング博士は嘗て支那に顧問として支那幣制改革に關しては金爲替本位を主張し之に關する浩瀚なる著述も之れ有り候經濟學界に於ても一方の權威に御座候が世事は悉く經濟一片を以て律すべからず獨逸國家の暴行の跡を見れば小生に取ては今更獨逸に貸付を爲すが如きは所謂盗人に追錢の感みなからず彼地獨逸が薔薇なく償金を支拂ひ得るや否やは頗る疑問にして甚し不能に終るとせば何事も其れのみを當にする事は伊、白諸國の窮狀今より想見するに難からずと存ぜられ候

劍道本心一刀流

日本體武會代表劍道師範　荒木榮山

武士道鼓吹談（三）

我身を構へ太刀は敵を討太刀なり敵を討つ太刀は又我身を構ふる太刀なり故に太刀は圓相と成りて身を構へ敵を討つ太刀と成る例へば火を手に持ちて廻す時丸く光る如くにして斯くの如く太刀糸の切るなく出づるは則ち引くにて、引くは則ち出づるにて、太刀も是も止る糸の筋々有りて惡しきが故に身に力身無きやうに、太刀も無き様、常に稽古行るべき事也

太刀は打込むか引込むかに從へ然りと雖も敵の太刀に會ふ時は出る事を捕へず先合ひ程前手の合たる能なり其内にても引込所に込行るべく一人の我を上手と言はず先に我れ上手と思ひて言葉自慢を言ずふは必ず下手にて人より惡み有る故必敵を色々に工夫して勝者にて我が下手と言ふ時は必ず諸人紫むるもの也味方大勢なるとも勝なり何程上手の九郎判官義經も後は負に成るなり自慢は大敵たり上に負て下で勝つを上手と云ふ柔能く剛を制し弱能く强を制すと言ふは此事なり味方大勢に上手の名を取る時は是を鯨と云ふ也小敵と見て侮るべからずとて小勇鼠をも油斷せず我と我に師をする者は必ず能く人に師をする者なり人と我と心は一心にて一流の能き事を忘れて我を能しと思ふは必ず敗の基にして身に總なき自慢をするは既に後の傷も付くる一生無きものなり柳は負て其の根を勝ち雪はずして勝つを君子と言ふ十援戰ひて其内一度負くる事も在り其一度の負の初めに負たるは死人の戰ひをする事なれば自慢する人は下手也昨日の我に今日勝たん事を稽古する弟子は則ち我師の理敵に曰く

立向ふ敵と和れとの其他に敵せぬ敵のあるをたづねよと是れ則ち一生の稽古たる事を明かに示すものなり英雄豪傑は昔より今の世に至るまで常に如何なる行動を保持し居るや我は英雄なり豪傑なりと常に口に唱へ目に角を立てし者も賀地の場合に臨みては腰抜けとなり又我は劍客なりと唱へ肩で風を切り我は劍客なりなどと言ひ往來を散歩するに大道狹しと腕を突つ張り通行人の邪魔をなし喧嘩口論を吹き掛け手打にするとか眞劍勝負を申し込み相手が詫れば金付け込み、或は勝負と成れば逃げ出し恥を知らざるは野人也眞の英雄は然らず心を鎭めて柔順なるを常とす無一劍と題したる理歌に曰く

「花紅葉冬の白野見し事も思ひは久さし稲にめてける」

劍を持たざるは問題とせず素より劍は持ち行るも持たざるものとて扱く事能はず似せ豪傑の生兵法は啼囃口論又は眞劍勝負を持ち込む亦あるも頭を下げて辭退すべし稲は實れば頭を下げるものなり木村重成の勘忍袋も此例に洩れず

政界茶話

白髪翁

◇對米問題は餘程難問題ぢやノー。之も結局寺內內閣以來特に原內閣の退嬰外交の結果ぢやよ、巴里講和會議以來スツカリ世界の誤解を招いて、支那はアノ通り躍かまして仕舞ふた

◇强いて米國も歐々一歩々々日本排斥の手を擴げて問題は日一日と切迫しつゝある。國論といふのは實に此秋ぢや、此形勢が進したらば結局世界から袋叩きにされて戰爭でもせねば濟まらぬ事になる。

◇世界の大勢に鑑んで自ら自誠ぢやと自白して無方針無主義の外交をやるちやから溜つたものではない、一體巴里會議でアノ樣な後手を打たず西伯利に無用の出兵さへしなければ、支那關係でも、對米關係でも談笑の間に片付いた筈なのぢや。何してもなつては十日の菊ぢや

◇原など對米關係を那もなげに謂ふて居るが、彌々原が强硬を張つて居るとなれば結局對米問題の痛手で內閣の　れるのは見え透いて居るよ

◇國民の間には此問題がまだ十分に自覺されて居ない樣ぢやが、政人などの中には日米戰爭などと噂く連中も出來始めた、國家を此危險に陷れた原內閣を國民は何と見て居るか、之に憤慨することを忘れた國民を率いて日米戰爭が何で出來るものぢやないよ。

◇此間或男が山縣に遇つたといふので色々な話をして居たが、老人も秋風と共に大分元氣が恢復した樣で、近來盛に訪問客に氣焔を吐いて居る樣ぢや

◇何でも其男の謂ふには近頃老人は頗る多辯になつて、丸で早稻田の老人の話を聞く樣ぢやといふて居た、其の所謂か氣樂な客には盛に自分の方針計畫等を喋り立てゝ人に口を開かせぬとコボして居たよ

◇何ヤへり普通選擧は氣に入らないかと、ウム其男の話でも、議論としちや普通選擧は良い、兎に角早晩實行は見られぬと謂ふて居る樣ぢやが、モー少し輿論が本氣にならぬと老人の方から進んで贊成する迄には至らないのぢやよ

◇どうせ、輿論に驅れた事ば謂ふ筈はないが此頃新聞で噂をした平田が外國旅行中止を原に勸告したといふ、一條などはどうも老人の指金らしいよ、原にはそれがどう解されて居るか知らぬが、アレは山縣系の懸緣狀ぢや

◇特に外交方面で近來內閣の擔出して來るのに外交調査止の忠告をさすなどは頗る皮肉といふものぢや併し原が此點を分る樣な振をすれば結局原は止めねばならないのぢやでノー、

創作　熱光の下を（十九）

曉谷

然し、私には幸福と言ふものゝ眞義が解り兼ねる。總くも「幸福」と云ふ言葉ほど誤解されて、いろんな場合の引合に出されるものはあるまい。

眞の幸福と云ふものは、心から泣ける時か、笑ひ合ふことの出來る純潔な心持になつた時でなければ味はへないだらう。好い加減な交世辭や煮え切らぬ合槌を打つてるやうな生活には眞に味覺することは能ない。

謂はば、何等の客觀性を混入しない主觀とか、感激とか云ふ文字で形容し得る場合のことだ。

此意味で、義弟の言つた幸福の意味は或方面から當つてゐないとは云へなかつた。唯、お前が何等の打算氣なしに二人の生活を守り育てゝ行けさへすれば、恐らく此言葉は適切な表現に進ひなかつた。

「二三日逗留してから歸り給へ。私の友達には隨分變つた奴も居るから、此の機會に紹介してあげやう。短歌や小說位、一寸捻る樣なの許りだよ。」

と云ふと、お前もすつかり有頂天になつて口を極めて私等の生活の意義あることを說明するのだつた。

「大井さんの繪も器用ですのね。未だ若いのに、あれだけのものが達者に描けるんですもの、今に立派な畫家になれますワ。」

何時の間にか、お前は斯うした巧者なことを云ふ樣になつてゐた。勿論、それは女の果敢ない見榮が云はせる虛飾ではあつた。おひらかしてはあつた。けれ共！何うにかして一通りの理解を與へたいとあせつてゐたので、彼等が心嬉しい樣な、きまりの惡い樣な顏がするのだつた。

義弟には書籍も、カンバスも、マンドリンも珍らしかつた樣だつた。今まで始終憧れてゐた、畫家や小說家と言つた風の生活は何とはなしに空想の世界を言ひ當てられたものの如にあつたらしい。

お前は、結婚後に作つた短歌をノートに書いたものを擴げて見せたりしてゐた。又買ひ置きの原稿紙も分けてやつたりした。

「あれは、眞から次郎に敬服してゐますワ。矢張り趣味が合ふからでせうね。」

少し風邪を引いた樣だからと言ふて義弟が賣藥を買ひに行つた跡で、晩餐の用意を終つたお前が斯う言ひ乍ら障子を閉めた。

「うむ。お前の家族中で、俺の心持ちや、言葉を親身になつて聞いたり味はつきりして吳れるものは彼だけかも知れないね。」

と私も、パレットを置いて火鉢の方ににぢり寄つて答へた。

晩餐の時になると、又例の鮭の話が出たが、磊落な義弟は、

「そんなものは何うでも好いぢやありませんか棄つとの兩端に魚の頭と尻尾だけ結びつけて、立野の軒端に釣下げとくと宜い」

「馬鹿な。眞逆、そんことも出來んワ。」お前も斯う言つて笑つた。

私は最う半搶餘になつて、何うにかなるさ、飯が濟んだら活動でも見物に行かうぢやないか、と二人を誘つて戸外に出た。

丁度新舊の文藝寫眞を映してゐる時だつた、私達がボックスに腰を下したのは。

或る農家の何やら言ふ青年が、或美しい娘に懸してゐたが、その娘は都に出て全盛を謳はるゝ立派な唄女となり、或音樂師に戀はれて幼い時からの戀人を紙屑の樣に棄て去つたが、遂に男の熱情と、音樂師に欺かれたのを覺つて、田舍に寂しい生を續けて行く初戀人の手に抱かれて行く――と言ふ筋のものだつた。

「……ホールさんは何う言いました。お前は戀よりも金指輪やタイヤの方が嫌いのだと、俺の心が痛まないじゃないなら、お前は湖に遺入つて死して終へと……」聞き覺れた辯士が感傷的な聲に節をつけてゐた。其時、私はマントの下から、お前の手を嫌手と握り締めてゐた。

内外電報

和蘭佛白同盟加入

和蘭は佛白同盟に加入の意嚮ありて考慮中なり（パリー來電）

赤軍内部改革着手

勞農過激派政府は赤軍の改革に着手しトロツキー總司令官となれり（伯林來電）

高等委員會反對

日本の提案せる日米高等委員會に排日な地方案全部の委托に對しては米當局は全然反對の意嚮なり（紐育來電）

議員團歸來を待つ

加州問題解決の爲め

桑港新聞紙上に現れたる華盛頓電報に依れば國務省は既に非公式に加州問題解決案を試驗的に起草し居れるもの如く而し該問題に對しては國際解決の見込み多からんと稱せらるゝ以外更に論議せらるゝ所なし最近極東を巡視したる下院議員團一行の來着は多大の興味を以て待ち受けられつゝあり蓋し下院議員團は實見したる所に基き排日問題に就て多く教ゆる所なるべしと期待せらるゝ所あるを以てなり該一行は既に二十五日を以てホノルルを出發したり（桑港來電）

煮切らぬ米の態度

二十六日紐育ヴォールド華盛頓特派員特電に曰く米國政府當局は目下懸案中なる問題に關し日本との戰爭の可能の如何すら考慮し居らず協議は兩國共最も友誼的精神と可及的穩健の態度を以て進捗しつゝあり又日本が純然たる米國內政諸問題の解決を強要せん爲めに兵力に訴ふることを考慮すべしと云ふが如き暗示は未だ行ひたることなし日本側の聲明する所にては若し日本が兵力に訴ふるが如き場合あらんか全世界の國民の同情は米國側に趨くことを自覺し居れるもの如し（桑港來電）

當分形勢觀望乎

二十八日の閣議の內容を聞くに先づ內田外相より特に加州に於ける排日問題に關して詳細なる報告をなし次で野田遞相より電力統一の前提として鐵道電化問題に關し高橋藏相より明年度豫算査定方針に就き夫れ〳〵說明する所あり尙加州排日問題に關する當局の意嚮を聞くに來る十一月二日行はるべき一般投票に依りて該法案の通過を見し處とするも尙該案は直ちに實施せらるゝものに非ず又此の問題に關しては米國にても尙十分調査研究を遂ぐる必要ある問題なれば之れが實施さる迄には相當の時日を要するものなることは明かなれば此の間最高委員の渡米或は大使を特派して緩和策を講ずる餘裕あり目下の處にては別に施すべき策なく暫らく形勢を觀望する外なしと（東京來電）

唯外國軍隊撤退を促す而已

ウエルフネ政權代表聲明

當地駐在ウエルフネ政權代表者サトフ氏は新聞記者との會見談中左記の一節ありたりウエルフネ政府は薩哈嗹州の權利を獲べく何等の交涉をなし居らずウエルフネ政府のなしつゝある唯一の交涉は講和の關列强の撤初に聲明したる露國領土より外國軍隊の全部撤退を促さむのみなり[illegible]（倫敦來電）

農商務省二分說

一般商業の發達に伴ひ農業に對する政策と商工業に對する政策とは是れを分離して各特種の助長政策を施すの必要あり殊に我國の制度の如く是等の總てを一省の統轄の下に置くは他國にて其例を見ざるのみならず總てに涉りて大臣の能く之を裁斷し得るものに非ざるを以て現在の農商務省を二分して農務商工務の二省となすべしとの議論あり右二分說は政府部內に於ても傳へられつゝあれば近く具體的問題となるべき模樣なり（東京來電）

絕對的の方針緊縮

十年度豫算査定內容

十年度豫算査定方針は既報の如く閣議に於て絕對緊縮方針を申合せ居れども實際上各省の要求額は物價騰貴に依り此の經費[illegible]

勞農新遣英使

露公使抗議す

米議員團消息

米の支那救濟

ジャコブ氏逝く

總督東上

大事熟議の爲

鐵道方針調査

蠶糸救濟基金

標準米格付變更

不逞鮮人隱遁

石井大使着佛

山本農相引籠

東京市長更迭

元老會合

山公と隈侯

定例閣議開催

支那饑饉救濟

來年度豫算に就て

河內山財務局長談

朝鮮金鑛現況

（一）黑木殖產局鑛務課長談

休止廢止

朝鮮丈で

物價騰貴

可成緩和

齋藤總督訓示

物價大勢軟弱

龍山治水策決定說

工費五十萬圓

興鐵株金拂戾

東亞紙業名人變更

府協議會開催

組合銀行帳尻

組合會議全部了

京城勞銀昂騰

司法監督會議

聯合會

商議 終了す

京城市場出來値

株式界

支局開設

大連支局 大連市山縣通三十二番地 支局長 野尻要次郎

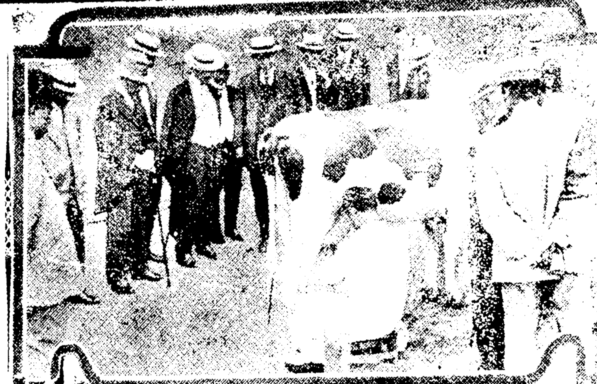
京城日日新聞社

仁川期米特電

東京期米特電

大阪期米特電

本社電話番號 編輯用二、三一八番 營業用二、三一九番



目下開催中の地方長官會議に參列の知事連の鶴見十安農園牧場視察

時代錯誤の京城電話

交換改善が焦眉の急務

怠業と居眠と燒芋の話を捨て、眞摯な態度の下に責任を果せ

受話器を外して耳に當て、約五分間以上も試みにモシ〳〵と二口ばかり云つて見る何の答へもなくて矢張りコーと遠くの方で音がしてゐる此間又五分間再びモシ〳〵と云つて見るまだ答へはない

癪に障るからカチ〳〵と鳴らして見るまだ答へがないカチ〳〵とやるまだウンとも云はない遂にモシ〳〵とカチ〳〵をちやんぽんにして漸次烈しくなる漸くのことで遠くで鼻で云ふらしいンペン〳〵の聲がする六百六番と睨鳴に云ふけれどそんなことには一向お構ひなしでナンペン〳〵は機械的に續いて遂に消へる…

…するのであらうか吾人は之を電話の怠慢より來るものと解釋するを以て至當なりと信ずるものである電話嬢の怠慢は監督者の不注意であり監督者の不注意は電話係長の責任であらねばならぬ電話の接續は少く共一分間以内に於て出來得べきものだ然るに一回五分乃至十分間の遲延は現在京城全市一日幾萬回かの電話呼出し總數の上につたと云ふキミ達に…

監督者

空費しつゝある時間と

…一ヶ月更に一ヶ年の上に計算する時は驚く可き莫大なる時間となる之を加ふるに電話呼出しに空費する時間は同時に之を起點として環連する總ゆる方面に波紋狀に擴大せる時間を空費せしめつゝあるのだ今や時間の經濟は個人生活と世界經濟戰の上に於ける重要なる資本の一つであり武器の一つでなくてはならない文明の利器の利用はそれを有する能力の最大限度にまで達せしめなくては…

實用品

改政草案

毒瓦斯の

戰雲廣東市中に漲る

各國陸戰隊上陸

居留民の保護に任ず

步兵操典改正成る

原因は教育方針の變更

軍隊内務書も改正

十二月から實施の筈

電話嬢

明瞭に

二軍脅迫の惡手段

鮮人富豪は續々避難す

美術院洋畫部

記念日祭

十月一日京城神社にて執行

總督府始政

軍紀風紀

平家の末胤

秋高く獵期近く

鮮内の狩獵場は何處

天狗連

山に足

論落の女カチユーシヤお葉（十二）

寢臺室の秘密

扉の鍵嚴重な

純潔な戀に憧る、心の寂しさをお葉は自覺した

妖艶辛辣

冷たく横

朝鮮神社

地均工事進む

建築は明春

大持ての女教員視察團

成女校で會食

大連人口增加

總數廿四萬人

鶏群

進behind判

眉間の掠傷一萬圓也

小さい受けた

其の二

千登世の主人は靜養軒の世話になつたと云ふ身がある

眞赤な嘘

靜養軒の

眞鶴は

經濟的見地から折角案出した生徒改良服

華美や虚飾の競爭を成す

何時か主旨を沒却して

女生徒



東京に於ける朝鮮女教員視察團

溫き歡迎に

美しき風光と新しき同胞と珍しき事物と

悅喜溢る、朝鮮女教員

視察團消息

第一信

第二信

第三信

奇現象

自由に

何故虎疫を出した天眞樓を遮斷せぬ

新患者の發生は絶えたが防疫を手脫かつたら危險

病毒の

白米三十六錢

まだ安くなる

南大門驛に兩替所

客車改造

其缺陷

三面拔萃帖

社告

京城日日新聞社

小説 判官 照手姫 （八十四）

旭山人 作

太郎先づ大に聞ふ

スルと太郎が出て、太「敵方は大身の者だから殿つて出るがよい」と申すと、「私が出ませう、殊に此の中で私が一番年も若く身分も低いから、私が先へ出るが當然でございませう」兵「尤もだ其れでは太郎を形勢に出せ」といふので初めて太郎と名乗つて出た、勿論武藝は知らない、力一ツ、稲澤村の方から出たのと今井四郎といふので是れは腕の武藝者、其れが爲め稲井村の方の武藝者は是れ迄バタバタ負け續けの事、もう相手に出るものがないか、ひ、行司が出て立つて嫁を附けるといふ處に、「只今稲井村より太郎と郎といふ方が出で御對手を致します」と郎、一勝を誇つたる今井四郎「何だ」とすさつしやい一ヒョイと見るとは何んで乃公に負けた人は何人居るか、凡そ此所の所

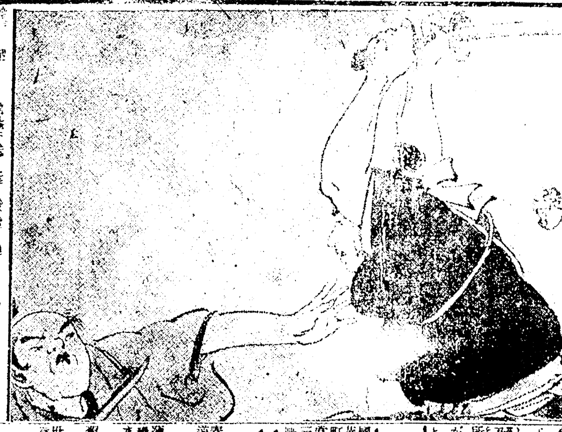
〔以下判讀可能部分〕

身體は大きいが皆式小供だ殊に木劍の持ちさへ充分に知らないと見たから、今井いよいよ馬鹿にして四「サア殿地氏とやら充分に打込みなさい」と四郎は中段に取つた、太郎は何も知らないから眞甲上段に構へヤアツ破鐘のやうな聲を出して之れに應じた、此時稲井村の方の見物は彼の事件を知つて居るから、誰いふと無く騒立てゝ〇「ヤア旦那さん」口を引裂いたアノ勢でやつゝけてお與んなさいましよ、どうか明神樣の御神の村にお願りなさるやうに、旦那樣かりお頼み申しますぞ」ワイワイと聲を掛ける、双方ヤツといふ三四合打合つたが、太郎は少し位打たれても、驚かれても、參つたと言はない、又實際左程の苦痛も感じない、彼れ是れずる間に隙あつて、太郎が眞甲に打下した木刀を、四郎ござんなれと受けるは受けたが受け切れない、眼たかに肩を打たれて、四「參つた」とセエセエ息をして引下つた、次に控へたる坂下佐太郎とい

城が定まつて居る、前から機んで打つて打込んで來るのを下りながら防いで居る中モウ後が狹くなつて來た「ヤア狼の旦那危ない」と稲井村の者が頻りに騒ぎ立てる、太郎は殆ど死に物狂ひ、エイツと一聲唯無鐵砲に打下した佐太郎此時體を變して居さへすれば宜かつたものを不意の一撃に體を變して居る暇がない、矢張り眞道に受留たものだから、受た得物と共に打込まれ、ドウと其場に倒れて終つた、少時過ぎて佐太郎漸く起き上り 佐「手前負たから仕方もないが今のはいふても仕方もないが今のは手前が得物を以て立派に受けた所を餘り力を以て壓倒したといふのだから是は眞正の負ではない太「何をいふ是が木劍だから然んな事をいつて居るが、眞劍なら貴

手いたす」太「何んでも來い殿ら「稲井村の方から出るは十人より今まで細井村の方が十人とはかり自然越しになつて居ります」と一是れで二人勝か八人がサアサア勝か開へてる」佐「是れ」と坂下佐太郎は何しからぬ一言

前度打勝つて居る殿ハイヤ殿地氏顔ねとた今度は手前御對手を致す」太「私は殿地太郎だ」と左右に別れる途端に突然兵庫が打込んで來たから、何をといつて太郎力任せに木刀を打下した其の途端に兵庫がヒラリ體を變したから太郎は自分の力で機みを食つて飛び出して行く奴を、後から兵庫充分に打掛り何だ「何らだ」まだ返事をしないか入つたか」答へがないから又一本郎でも構はねば、我慢が出來るものでない、以上三本喰つて漸く太郎をホロホロ泣しながら太郎が」太「參つた……」と「確に參られた「參つた併し乃公が負けても恥い、奴はない、打込んで行つた奴チャンと受けない、誘ひ出して人を如何樣に掛けやがつて、乃公が打込んだ力をが餘つて反る所を後から打やアがつて、今兒貴が出て敵討をするから然ら思へ一と涙を溢して太郎引退つた。



石鹼製造
京城元町
生田組工場
電話龍八二六番

京染
京都染元
末廣屋
京城本町五ノ三六
振替京城七八〇九

演藝案内

國金會社特約
黄金町
黄金館
電話二六六 二六三七
▲實寫 戰時讚話
▲喜劇 花婿の間違ひ
米國パラルタ社作
カスリン、ノリス夫人傑作
泰西悲劇 神の惡戲 全五卷
名優エラホール嬢 演出
說明者 南鄕公利 泉春傑
薄命なる婦人の半生? 轉々として變り行く果て運命の暗き影は何所まで彼女をして苦めるや
國活會社最新撮影
舊劇 丹波の猿神 全五卷
世界的 澤村四郎五郎、市川延十郎一派
連鎖寫眞全二十二齣四十四場の内 第九、十、十一、十二齣
名金 八卷上場
自働車の怪人は善か惡か殺も極刑なる殺人の嫌疑はキチー嬢にかゝる「アクホヘン」國王の陰謀と快漢ロロー殿々大努力大奮鬪?益々佳境に入り實に白熱的大好評四日間限り日延なし
日祭祝日一日十五日晝夜開館

日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
櫻井町
大正館
電話八七三
●來る九月廿四日より引續き大興行
●實寫「カンボシヤの姉」
●喜劇「フィガロの結婚」尺長
米國メトロ會社近の最傑作
人情活劇 男の熱血 全六卷
斯界の名優ブッシュマン氏とベーン嬢が役の大活躍劇にして米國西部の原野を背景とせる復讐譚
活動寫眞會社演藝部長尾上松之助自作
日本大喜劇 彌次喜多 全六卷 後篇
前篇に於て「彌次と喜多八」の兩人は讃岐の國を逆戻りの東海道五十三次から三河路まで辿り來毛生のちなり……
毎月一日・十五日・日曜日・祭日晝夜開館

喜樂館
電話五九七番
空中ローマンス 全八卷
歐洲の上空戰に參加する……

村越茂助 全六卷
日本一の剣客武士 尾上松之助 總出演

毎月一日・十五日・日曜日・祭日晝夜開館

朝鮮郵船

元山出帆（取扱店 吉田運漕會社）
大阪行 十月五日 平安丸
下關行 十月五日 會寧丸
江原道行 十月二日 濟州丸
敦賀行 十月五日 立神丸
清津行 九月三十日 立神丸
雄基行 十月十五日 會寧丸
浦潮行 十月五日 清津丸

釜山出帆（取扱店 大池回漕部）
大阪行 十月十五日 清津丸
大阪行 九月三十日 雄基丸
下關行 十月八日 寧會丸
新義州行 九月三十日 咸鏡丸
北鮮行 十月三日 越後丸
浦鹽行 十月三日 清津丸
鬱陵島行 十月三日 公海丸
江原道行 九月三十日 濟州丸
濟州島行 十月二日 昌平丸
木浦行 十月一日 昌原丸

木浦出帆（取扱店 野村回漕部）
大阪行 十月六日 新義州丸
釜山行 十月一日 濟州丸
濟州島行 十月六日 公州丸
多島海行 十月一日 公州丸
仁川行 十月二日 全州丸
新義州行 十月八日 雄基丸

仁川出帆（取扱店 郡回漕部）
大阪行 十月四日 新義州丸
新義州行 十月十一日 雄基丸
木浦行 十月一日 全州丸
海州行 十月 休航
鎭南浦行 十月四日 豐漿丸
青島行 十月三日 江原丸

朝鮮郵船株式會社
電話 一一三一 一一三二 一一三三番
釜山支店 電話一八四番
元山出張所 電話四六四番
京城取扱店 驛前 松原運送店 電話一〇二番
釜山佐藤 元山海岸町
○當社ヘ滿鐵、日本郵船會社、大阪商船會社ト連帶運送ノ便有之候

朝夕の冷氣に秋の來るを覺ゆ
染物の好期は今川スグお電話を
京城櫻井町
みのや京染店
電話 本局 六一三 六四 三六 八二

京都撫川出張所
京染呉服 商
福田民二郎
京城旭町三丁目五
電話三三四六番

京染呉服 商
開通 電話 三三四六番
福田民二郎
京城旭町三ノ五

其月號の定價の半額提供

新刊雜誌
月遅れ雜誌
販賣元
大陸公論社

西陣御召破格提供

九月二十八日ヨリ
十月五日マデ
島御召 二十五圓ヨリ 三十五圓迄
秋染御召 三十圓ヨリ 四十圓迄
白生地類並京呉服特別大見切賣出し
呉服 染物商
(ヨ) 吉岡出張店
京城本町貳丁目一〇三
電 二〇八一

島崎病院

内科
外科
皮膚科
徽毒科
エッキス光線
K.S.式ヂアテルミー 新設 入院隨意
京城旭町一丁目
電話二七三六番

德永鍼按治療院

熊本盲唖學校卒業生
主治病名記
胃腸病、子宮病、炎、腳氣、僂麻質斯、腦病、神經痛、齒痛、氣管支、ニ治療全快セシム 心臟病諸疾患ヲ確實
朝鮮京城府

左記
今般義州通壹丁目三十八番地ヨリ同町四番地ニ移轉致候
德永鍼按治療院
京城府義州通壹丁目四番地

東京旅館

京城府旭町二丁目六番地
長電話 二五九
別府自動車部
仁川本町四丁目電話六百六十番

開店披露

秋冷の候各位益々御清榮奉欣賀候陳者今般西洋料理開店致候に付ては特々廉價を旨とし調進仕候間御引立の程伏而奉願候
京城府本町三丁目
カフエークキーン

歐米先進國ノ新ラシイ技術熟練ヨリ得タル技術ト文明ノ化學ヲ應用クリーニング乾燥洗濯及ビ洋服丸染
總督府御用達
(澤) 西洋洗濯所
京城黄金町七丁目 電話 一八九四番

婦人に告白

一 ふとん綿は實質の良いのを御買いなさい
一 實質の鑑定は素人にできませんから責任ある會社製品を御買求めが良策で安心です
一 實質の良いものには素人見の悪いものが多いのです
一 素人見を飾りたるものに耐久力ある實質の善良なるもの少なきは一般に認識て居ります

論より證據李王家及官衙には
一 吾社の綿を賞揚御買上になつて居ります
一 内地其他幾百の綿業者の提出品を精査の結果
一 ふとん綿は左の商標のものを責任以て御進めしますから迷はないで御買求なさい翌年になれば實質が能くわかります

商標 富士、鷹、日の出、松、竹、梅、天、地、人
呉服店綿店に品切れの場合は會社にあります
京城齊藤町
朝鮮製綿株式會社
電話一六五番

實費洋服裁縫

今般東京大阪神戸より渡鮮せし高等洋服職工貳拾名にて實費洋服裁縫の原價引受けを實行する事に決し京城永樂町二丁目三十八番地土屋組に於て準備に着手し九月早々より御註文を引受ける事に致し縫の原價引工賃値段へ生地と裏地など附屬品は一切御註文者のの御辨つて居るに支(は洋服工組合が本年三月に議定した標準表を其儘公開して之の通りであります此の工料で有るのですから左の工料で受けるのです手間賃は各洋服店が職工に支拂つて居る

洋服の純手間賃

品目	仕立	裁斷及縫
背廣三ッ揃	拾貳圓五拾錢	八圓四拾錢
オーバー	九圓	六圓
トンビ	八圓	五圓
クロツク	九圓貳拾錢	六圓十六錢
フロツクコート	拾貳圓五拾錢	八圓參拾錢
エンビ	九圓	六圓四拾錢
タキシード	八圓五拾錢	五圓五拾錢
モーニング	四圓八拾錢	拾錢
立襟上下	參圓	參圓七拾錢
マント	貳圓五拾錢	貳圓
ズボン	參圓	參圓
チョッキ	四圓五拾錢	貳圓八拾錢
被布	貳圓	圓五拾錢
コール天ズボン	參圓五拾錢	貳圓

職工は石の工賃に一錢も增さずに一般に引受申ます表中に裁判とあるは型紙裁斷其の他の雜用一切を含み之に裁斷賃を加へた者が下段に示したので有ります上段の仕立賃と合した者のが裁縫の全手間賃であります

京城永樂町二丁目三十八
土屋組洋服調進所

洋傘附屬品、帽子、剣、絹
カフス、ボタン
鈕、糸、帶
京城永樂町一丁目五九
鶴田ボタン店
電話 本局 三八二一番 振替京城四八七番

橘家宗家指定
筑前琵琶
製造元

京城本町三丁目

自轉車 輸入 直賣
附屬品 修繕
京城黄金町二丁目東拓前
卸小賣 トミタ商會
電話本局八一四八番

ヨシトクタビ

●阿波正藍染の元祖
●外縫足袋の親玉
●ゴム底地下足袋 新案特許
用途 鑛山 農林 其他各方面
德島足袋株式會社
德島市 營業所

シッカロール


來る十月一日より三日間
冬物新安値賣出
品拂底御買古勝利
京城
丸一呉服店

京 嶋屋製 最上 醬油
品質第一 多やま味噌
京城岡崎町

各種石鹼卸小賣
本町四丁目
眞繼商店

麝香煉製
九星石鹼!!

品質純良、芳香温雅にして體裁效果共に卓越好評嘖々たる石鹼界の覇王
京城府岡崎町
朝日石鹼株式會社
電話 二五六四番
振替京城四〇〇〇番